

# 船明拠点に材表面清掃装置

## ワイヤーブラシで美観向上

### 材料の有効活用に役立てる

スカイ(静岡県磐田市、高橋幸嗣社長)はこのほど、プレカット工場や物流施設を構える船明拠点内に、金属製ブラシで木材の美観を高める材表面清掃装置(飯田工業製)を導入した。表面変色材などを磨き上げて付加価値を高めることで、材料の有効活用に役立てる。

同社は東海地区大手のプレカット事業者で、本社のある豊岡拠点と浜松市天竜区の船明拠点で月産1万1500坪(12年実績)の体制を構築している。今回、船明中間倉庫に導入された装置は、4軸の回転式ワイヤー

ブラシを搭載しているのが特徴で、投入された木材を自動的に送りながら上下面と両側面をブラシ掛けすることができる。在庫時に表面が変色したり砂を噛み込んだりした材料の美観を再生できるほか、ブラシを調整することで

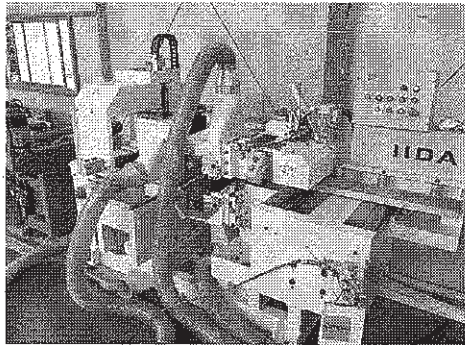
木目を際立たせた「浮づくり」にすることもできる。装置の大きさは長さ2600×幅1300×高さ1520ミリで、幅450×厚300ミリの材まで対応する。今後は材料の有効活用に取組むほか、天然乾

燥材の付加価値化などに活用していく考え。

## スカイ

### 営業と工事部門を集約

同社の高橋社長は、来年2月をめぐりに営業部と工事部を一体化し、総合的な営業体制を構築する方針を明らかにした。増加した材・工セットの物件や建材等の供給要請への対応力を高めるもので、内勤の営業サポーターと組み合わせて業務効率を追求する。



新装置によるブラッシング加工

営業拠点としては、豊岡拠点にある総合展示館のスカイ建築館(けんがくかん)を改装して両部門を集約配置する考えで、今年中に改装プランをまとめる予定だ。